

	<h2>関東大震災から100年 23区 広報紙プロジェクト</h2> <h1>広報紙を通じて、災害への備えに関心を！</h1>
と き	8月5日（土）～随時
<p>9月1日に関東大震災から100年となるにあたり、970万人が住む23区の方々に、災害への備えに関心をもちもらえるよう、東京23区の広報紙がコラボレーションします。</p> <p>100年という節目の年に、練馬区が23区の広報紙を連携する企画を提案。当企画に賛同した各区の広報紙に、共通の被害写真、東京都が制作した関東大震災100年のロゴを掲載します。</p> <p>練馬区の大木 裕子 広聴広報課長は「23区の広報紙が連携することは、大変珍しい取組です。いつ、どこで、起こるか分からない大地震に備えるきっかけになれば」と話しています。</p>	



▲掲載される被害写真（東京駅前の焼け跡、日本橋方面（気象庁ホームページより））と、東京都が制作したロゴマーク

【経緯】

1923年（大正12年）9月1日、甚大な被害をもたらした関東大震災が発生しました。国では、9月1日を「防災の日」として、様々な啓発活動
関東大震災100年という節目の年に、災害への備えに関心をもちもらえるよう、練馬区が、東京23区の広報紙をコラボレーションする企画を提案しました。

賛同していただいた各区の広報紙に「東京駅前の焼け跡、日本橋方面（気象庁ホームページより）」の被害写真と東京都が作成した関東大震災100年のロゴマークを掲載します。



▲連携した広報紙（左から、新宿区、練馬区、千代田区）

【問い合わせ】

練馬区 広聴広報課 広報係

電話 03-5984-2690